

新年度 保育課への挨拶とお願い

2008年5月21日(水) 18:30~20:00

市役所第2別館201会議室

発言は、(市): 保育課、(連): 連絡会

出席者

(保育課) 齊藤課長、須田主幹、内田氏、鹿野氏

(連絡会) 事務局6名、八木崎、小淵、豊野

(連) 連絡会について

- ・連絡会発足の経緯、15クラブの賛同を得て2月24日よりスタートした事を報告。
- ・県連協からは脱退する事(会費負担増で理解を得られないため)報告。

質問とお願い

・指定先の更新について

(連) 1) 保育の継続性が損なわれる事に対する不安

来年、更新をひかえている。一般公募と聞いているが、福祉公社の解体の話も出ている。どこが手を上げるのかわからない事に対する不安がある。指定管理者制度を学童保育に適用するメリットとデメリットがあると思うが、利用者側から見た時に良くない話ばかりが聞かれる。

2) 民間企業による運営実績に対する不安

遅い時間まで預かる、夕食を提供する、送迎する・・・などの多様なサービスを高額な保育料で提供する民間企業の学童保育が出てきている。利用する親が選択肢の一つとして選ぶ事ができるのならOKだが、春日部においては我々は公立公営の学童保育として市が責任を持って運営するものに期待するしかない。予算も限られている公立学童の民間企業への委託は、コスト削減の影響が心配。

次の受け皿になる団体を、市の後押しによって確保してもらいたい。

(市) 継続性を重視した方向で進めているが、今のところはっきりした回答はできない。公社の解体についても、団体の中でまだ決定されていない。実際、指導員さんがいらっしゃるし、今の保育を続ける事を大切にしたいと考えている。(齊藤課長)

(連) 更新に向けたスケジュールは?

(市) 「12月の議会で指定先承認が必要」「11月までに選定」「10月公募受け」

昨年の旧庄和地区公募と同様のスケジュールになるだろう(須田主幹)

(連) 指定先に要求する仕様について、事前に情報が欲しい。利用者である父母の意見も取り入れて欲しい。

(市) 検討する。(齊藤課長)

・高学年の退室勧告について

(連) 一部のクラブにおいて、定員オーバーで高学年が入室できない状況になっている。特に空き教室クラブで。高学年とは言え、「必要だから」入室を希望している。民間時代は施設の制約等もあったが、6年生まで預かる事が当たり前であった。施設・人手の不足はあると思うが、何とか積極的な受け入れをお願いしたい。

(小淵クラブ 田村会長) 6年生のお姉ちゃんが、勧告により5/9退室。たった一人の6年生で、クラブではリーダーシップをとり、学校では見せない顔も見せていた。学童が自分の居場所になっていた。5年生のお兄ちゃんも同日退室。上級生として、下級生の面倒もキビキビ見ていた。1年生の妹、お姉ちゃんお兄ちゃんを見てきて、学童に憧れを持って生活を始めた。急に上の二人がいなくなり、不安そう。

玄関先で子どもが殺されるような不安な時代に、お留守番ができる学年かどうかで上から切っていくて欲しくない。働く親が増える中で、需要は絶対に減っては行かない。何とか高学年も利用できるようにして欲しい。切実な親の願いです。

「退室願い」の書式について:

勧告により泣く泣く退室させるのに、「退室させたい理由」を書けと言われて悔しさがこみ上げてきた。親の気持ちを全く無視した書式だった。

(市) 従来の様式でお願いしたが、今回初めての退室勧告で、配慮が足らず、申し訳ない。(内田氏)

(連) 増設に向けた空き教室の確保は進むのか?

- (市)手を打ち始めている。校長との調整が必要。教育委員会も絡む。今協議中。(齊藤課長)
予算が付いていないので、今年度内の整備は難しい。(須田主幹)
- (連)空き教室の場合、荷物の置き場が教室外に取れるかどうかで有効スペースが大きく変わる(例えば下駄箱、ロッカー、物置などが外に置ければ)。一輪者用の物置を戸外に置いて下さったとの事。同様に教室脇の廊下のスペースなど、使える様に学校にもお願いして欲しい。
増設は必要だが、来年・再来年ではなく、今受け入れを必要としている子どもたちを助けて欲しい。
- (連)夏休みなど、長い期間だけでも勧告を受けた子どもの受け入れをお願いできないか。
- (市)状況によるが、夏休み期間、利用しない子どももいる可能性があるので、一時的に空きができれば受け入れ可能。しかし現時点でははきりとは答えられない。(内田氏)

・指導員の不足について

- (連)公設スタート時に比べて、指導員の配置比率が下がっているのではないかな？
- (市)産休・育休も含めて配置しており、基準は満たしている。(須田主幹)
- (連)実際には現場に居ないわけで、他クラブからの応援などでまかなっている。現状八木崎は84名を2人で見ている。しかも2人とも新しく異動してきたばかりで悪銭苦闘している。
まず、募集方法の検討(募集範囲の拡大など)をお願いしたい。一時的にはパート加配などもやむを得ないと思うが・・・。
更に、なぜ募集してもなかなか人が来ないのかを考えてもらいたい。責任ある仕事であるにもかかわらず報酬が少ない。2年ほど前に調べた結果では、公設になってから数多くの指導員が退職しており、教職や保育師などへの転職の他、他市(近隣の)の指導員への転職もあった。待遇に関しては公社の問題で、保育課が直接関わる事ではないと近年言われてきたが、「委託費用」の問題であり、予算の拡大がなければ解決しない。
- (八木崎クラブ 玉野会長)先生方は、少ない人数で一生懸命やってくれている。先生方の健康が心配。また、事件や天災など、予期せぬ出来事が起こった時、現在の人数で対応し切れるのか不安。指導員の待遇改善を！すぐには無理でも、少しずつでもやっていかなければ指導員の働く意欲も低下し、子どもを預ける親としても不安。
- (八木崎クラブ 遠藤さん)児童数84は、従来は4名配置だった人数だが 欠員+一人妊娠で実質2名に。その2名とも4月に 異動してきた先生。異動の人事に問題がある。今年度3人異動して、残ったのが現在妊娠中の先生。パートの補充もまだの状況。緊急措置を！
- (八木崎クラブ 高山さん)妊娠中の先生は一度流産しており、現在も調子が悪いのに、無理して出てきてくれてしまっている。休んで欲しいと言っているが、現場が大変なのを知っているから放っておけないから。今すぐに対応して欲しい。
- (市)公社は現状を知っているのか？公社と早急に話をする。対策を考えてもらうように、公社と連携を取っていく。(齊藤課長)
- (連)人員不足の場合、公社からピンチヒッターは有り得る？
- (市)有り得る。公社の職員が行く可能性はある。(齊藤課長、内田氏)
- (連)若い先生が、自身の子どもを育てながら働いていける環境も重要。将来のためにも、若い先生とベテランの先生とのバランスが心配。予算の拡充を！

・予算について

- (連)今年度の予算金額を教えてください。
- (市)運営費2億8400万(施設費は別)。うち指定委託費2億4523万。(須田主幹)
注)上記金額は後日保育課より修正連絡いただいた数字。
- (連)幸松クラブの増設については？
- (市)実施設計の予算は3月の議会で承認済み。どんなに遅くとも再来年の4月からは受け入れ可能。(須田主幹)
- (連)レイアウトなど、使い勝手について父母と現場指導員の意見も聞いてもらいたい。
- (市)大体決まっているが、指導員に確認したり、考えて検討する。(齊藤課長)
- (市)最後に・・・こういう機会に限らず、意見などがあればどんどん言って欲しい。行政であるから、課長権限でできる事とできない事はあるが、今より良くしていきたいとは思っている。(齊藤課長)

以上